

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4 10:00 納骨堂合同参拝 13:30グランドゴルフ
5 7:00日曜礼拝	6	7 門信徒会旅行 13:30踊り教室	8 島根・浄円寺 開基三百年報恩講 12:30ヨガ教室	9	10 11:00 れんげ会総会	11 10:00 あんのん堂合同参拝 (京都・大谷本廟内)
12 7:00日曜礼拝	13 【講師】大江宏玄師(東京都)	14	15 10:00 クリスタルヨガ	16	17	18 13:30グランドゴルフ
19 7:00日曜礼拝 15:00雅楽教室	20 11:00写経会 13:30定例法座	21 13:30踊り教室	22 12:30ヨガ教室	23	24 テラ 9:00ボラン寺 寺報発送作業	25 15:00 壮年会法座 「正信偈を読む」
26 7:00日曜礼拝	27	28	29 昭和の日	30	<div style="border: 1px solid red; padding: 2px;"> <来月の予定>17日(日)「永代経法要・門信徒会総会」 </div>	

天ちゃんの一言

★築地本願寺でプロジェクションマッピング！NHKニュースで放映されました

築地本願寺が国の重要文化財に指定され、記念イベントが開かれました。歴史を振り返ると、江戸の大火で浅草の本堂が焼失し、幕府から八丁堀の海上が替地として与えられました。佃島のご門徒が中心となり海上を埋め立て、現在の地に本堂が再建されました。その後関東大震災で再び焼失し、伊藤忠太博士の設計で現在のインド様式の石造りとなりました。ご門徒方の苦労の上に現在の地に建つことを思うと、有難く自然に手が合わさりますね。



★5月の永代経、門信徒会総会に向けて！役員さんありがとうございます
3/28役員会が開かれました。天真寺の様々な行事は、役員の方々の力で運営されています。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

★中央仏教学院通信教育へ～仏教や浄土真宗が学びたい方はぜひ！
9/1スタートに向けて、6/30まで受講者の募集しています。目標に合わせて3コースあり、1～3年かけてじっくり勉強できます。興味のある方、ぜひチャンレンジして下さい。詳しくはお寺でお尋ね下さい。

門信徒会
入会案内

一緒に浄土真宗のみ教を聴きませんか。入会随時受付中。

毎月、お寺のたよりと仏教冊子を配布しています。法要や法話会にお参りしましょう。年会費は一戸三千元。

月刊 天真
4月号

発行日 2015(平成27)年4月1日
発行者 浄土真宗本願寺派天真寺
第457号

正信念仏偈
七

超発希有大弘誓
建立無上殊勝願
国土人天之善悪
親見諸仏浄土因
在世自在王仏所
法蔵菩薩因位時
南無不可思議光
帰命無量寿如来

ひかりといのちきわみなき
阿彌陀ほとけを仰がん
法蔵比丘のいにしえに
世自在王のみもとにて
諸仏浄土の因たずね
人天のよしあしみそなわし
すぐれし願を建てたまい
まれなる誓いおこします

整声〇〇 出音ハ調シ 右草譜
左行譜
六

●壮年会法座●
全12回シリーズ
第1回
「お正信偈を読む」
4月25日(土)
午後3時より
参加自由 参加費無料

ご参加待ってますー！



春からはじめる「お正信偈」4月25日(土)スタート

「きみよ～むりよ～じゅによらい～♪」「正信念仏偈」は、毎日の家でのお参り、お寺での法要法事と、おなじみのお経です。宗祖・親鸞聖人が書かれたもので、『教行信証』というご書物の中におさめられています。お念仏の教えが、はるか昔お釈迦さまの時代から、インド・中国を経て日本に伝わり、今私に届けられたという大きな喜びがうたわわれています。お経なんて漢字ばかりで難しそうだし、つまらなそう…と思ってる方。そんなことはありません！親鸞聖人が生涯をかけて書かれたお言葉の一つ一つには、人生の教えがたくさんつまっています。まさに今を生きる私たちに語りかける生きた言葉です。仏教を通して人生を知る学びは、とても楽しいですよ。

ぜひあなたも一緒に親鸞聖人のお心を開き、お正信偈を読んでみませんか。初めての方も、ベテランの方も、必ず学びがあるはず。ゆっくり、楽しみながら進めますので、心配はいりません。事前申込みや参加費は必要なく、どなたでも自由に参加できます。ぜひ春から新しい人生の一步を踏み出しましょう！

【講師】名種(なぐさ)木乃実・・・天真寺衆徒、京都在住。中央仏教学院通信教育京都支部会長。



☆天ちゃんパークの河津桜☆
春彼岸には満開でお迎え。境内はこれからしだれ桜、御室桜が楽しめます♪

浄土真宗
本願寺派
天真寺
〒270-2251
千葉県松戸市金ヶ作106番地
TEL 047-389-0808
FAX 047-389-0809
www.tenshin.or.jp





春特集 どんない生？読んで知ろう！「親鸞聖人のご生涯」

■ご誕生

承安3年(1173)、親鸞聖人は京都の日野の里でお生まれになった。父は藤原氏の流れをくむ日野有範、母は吉光女と伝える。

■得度と求道

養和元年(1181)9歳の春、伯父の日野範綱にもなわけて、京都東山の青蓮院にて慈円和尚のもとで出家・得度をされ、範宴と名のられる。ついで比叡山にのぼられ、主に横川の首楞嚴院で不断念仏を修する堂僧として、20年の間、ひたすら「生死いづべき道」を求めて厳しい学問と修行に励まれた。

■本願念仏との出あい

建仁元年(1201)親鸞聖人29歳のとき、比叡山ではさとりに至る道を見出すことができなかったことから、ついに山を下り、京都の六角堂に参籠をされた。95日目の暁、親鸞聖人は太子の本地である救世観音から夢告を得られ、東山の吉水で本願念仏の教えを説かれていた法然聖人の草庵を訪ねられる。やはり100日の間、聖人のもとへ通いつづけ、ついに「法然聖人にだまされて地獄に堕ちても後悔しない」とまで思い定め、他力念仏の教えに帰していかれた。

■法難

法然聖人の説かれた念仏往生の教えに対して旧仏教教団から激しい非難が出され、ついに

承元年(1207)、専修念仏が停止されて、法然聖人をはじめ親鸞聖人や主な師弟が罪科に処せられる。これを「承元の法難」という。親鸞聖人は越後(新潟県)に流罪となり、これを機に愚禿親鸞と名のられて非僧非俗の立場に立たれた。このころ恵信尼さまと結婚、男女6人の子女をもうけられ、在俗のままで念仏の生活を営まれた。

■関東での布教

流罪から4年後に赦免となるもしばらく越後にとどまられた聖人は、建保2年(1214)42歳の時、妻子とともに越後から関東に赴かれ、常陸(茨城県)の小島や稲田の草庵を中心として、自ら信じる本願念仏の喜びを伝え、多くの念仏者を育てられた。元仁元年(1224)ごろ、浄土真宗の教えを体系的に述べられた『教行信証』を著される。

■帰洛とご往生

嘉禎元年(1235)親鸞聖人63歳のころ、関東での20年に及ぶ教化を終えられて帰洛、主に五条西洞院に住まわれた。京都では晩年まで『教行信証』の推敲、加筆を重ねられるとともに、『和讃』など数多くの書物を著された。また、関東から訪ねてくる門弟たちに本願のこころを伝え、書簡で他力念仏の質問に答えるなどの生活を送られていた。弘長2年11月28日(新暦1263年1月16日)、親鸞聖人は90歳で往生の素懐を遂げられる。



●福島にて 東日本大震災追悼法要

震災から4年。地震とそれに伴う津波が、多くの命を奪い去りました。復興への道が進む中、原発事故による被害は限らない悲しみを作り出しました。この度、福島県南相馬市の塚原集会所にて、慰霊碑建立式と追悼法要をつとめ、天真寺雅楽会も参加させていただきました。尊いご縁に感謝致します。



●今月のあんのん堂～京都だより

毎月第2土曜日は、京都大谷「永代合葬墓あんのん堂」の合同参拜日。お彼岸も近づいた春めいた空気の中、朝から雨が降っていました。「一雨ごとの暖かさ」ですね。今月の掲示板は「死んで往ける道はそのまま生きてゆく道です」京都大学名誉教授の東(ひがし)昇さんの言葉です。「私は自然科学者である前に一人の人間です。死と対面した時には、人間の得たものはすべて消えてしまいます。力となるのは、ただ念仏だけ」と語られました。「私の生の総決算は、ただ念仏」と言い切られた東さんの言葉を通して、そう言わしめるお念仏のはたらきに出遇せていただきました。



天真寺 今月の法座案内

- 20日(月) 13:30 定例法座
- 10日(金) 13:30 れんげ会(婦人)法座
- 25日(土) 15:00 壮年会法座

天真寺 天ちゃん募金

「できる人が、できることを」をモットーに続けてきたお寺のボランティア活動。これまでもカンボジアの子ども支援や、貧困や戦争で苦しむ国々への募金活動などを行っています。皆様のあたたかいお気持ちを寄せ下さい。

[郵便振替]00270-5-82663
[加入者名]天ちゃん募金



定例法座



【日時】
4月20日(月) 午後1時半

【講師】
大江 宏玄 (おおえ・こうげん) 師
本願寺派布教使・東京敬覚寺副住職



どなたでもご自由にお参り下さい

過去帳持参の方は、尊前にお供えします
年回法要や命日をご縁にもお参り下さい

■無料送迎車 お気軽に利用下さい！



12:30小金原マルエツ駐車場→12:35栗ヶ沢公園前→
13:00 JR新八柱駅南口メガネスーパー前→
13:15新京成常盤平駅北口福太郎駐車場
※送迎希望の方はお寺までお知らせ下さい

住職の独り言

■時計 (3/9掲載)

時計は誰かが見ている見えていなくても、チクタクチクタク。自分のつとめを精一杯果たしている。人は見ている時だけ働いたり、働いた手柄を鼻にかけたり…。どちらが偉いんだろう。時計を見て、阿弥陀さまのはたらきを思う。

『仏説無量寿経』如来、無蓋の大慈をもつて三界を矜哀したまふ。世に出興するゆゑは、道教を光闡して、群萌を拯ひ恵むに真実の利をもつてせんと欲してなり。(如来はこの上ない慈悲の心で迷いの世界をお哀れみになる。世にお出ましになるわけは、仏の教えを説き述べて人々を救い、まことの利益を恵みたいとお考えになるからである。)

■お念仏の香り (3/10掲載)



陽光のお育てを受けて 香りけり
春です。春の香りが先にあるわけではありません。暖かな日差しを受け、草花は芽吹き、香りを放ちます。お念仏のみ教えも然り。阿弥陀さまの慈光(智慧)のお育てを受け、お恥ずかしや、勿体なや…との思いが、お念仏の香りとなって私の口から南無阿弥陀仏と出て下さるのです。目には見えなくとも、我が身が尊いお育ての中にあることを、我が口から出るお念仏を通して知らされるのです。 合掌